【鎌倉市地域福祉計画推進状況報告書（案）：委員照会意見と回答】

意見内容	回答
表の作りとしてとてもまとまって綺麗なのですが「R2目標」の次に「R2実績」「R2評価」と年度としてまとめ、その次に「R3目標」「R4目標」とする案もあるのでは、と思いました。	御提案のように、年度でまとめる形式も検討いたしましたが、年度を重ねていくごとに列などを動かすこととなり、見づらくなるのではないかと考え、現行の（案）にいたしました。
「目標１」の「取組」として可能でしたら1つ追加をお願いしたいと考えました。「課を跨いで関連事項知識の共有」です。貴所での仕事内容に関して課を跨いで関連することが多々あると思います。お互いに関連する知識をもう少し共有して頂き、相談時の市民の動きが少しでも簡単になるような体制を徐々にでも整えて頂けたらと思います。私的な具体例ですが、医療費関係で障害福祉課に相談に伺ったところ「国民健康保険の方で手続き」と言われ、後日また改めて国保に手続きに伺ったところ、行く必要がなく「市役所からの連絡を待って下さい」とのことでした。どこまでの知識を共有するかの判断は難しいと思いますが、「目標１」２番（関係機関等が連携した体制づくり）や「目標２」（～～各制度間の連帯～～）にも関連することですので、ご検討いただけましたら幸いです。 市民にとって今後より便利な「市役所」になることを願っております。	御意見の内容は、現行の計画「1-2-2-1　相談にかかる関連部署や専門機関の連携推進」の中で取り組むべき事項と考えております。同取組は、「相談を受ける窓口と、支援を行う関連部署や専門機関の連携を強化し、窓口の渡り歩きなどの相談者の負担の軽減を図っていく」としています。これは、まさしく御意見の状態を解消することが目標です。 目標達成のためには、情報・知識の共有が必須となりますが、知識や経験を蓄えることは時間を要します。また、人事異動により人が変われば元に戻ってしまうという問題があります。 そのため、今後は、どの職員であっても、さらには市民の方であっても、それを用いれば何の手続きがどこで必要なのか解るような、例えばチャットbotなどのICTを活用し、個人の能力や経験値によらないサービスの提供と利便性の向上について、庁内で検討を進めていきたいと考えております。
目標管理（MBO）制度においてはプロセス管理がより重要ですので、それぞれの目標・施策のきめ細かい進捗管理をお願い致します。	本計画は、複数の分野が「地域福祉」を基準として横断的につながっていることを明記したものであり、個々の取組は、すでに各分野の個別計画にて目標を定め、取組の詳細を記載し、細かい数値や課題等を追っています。本計画では、分野を超えた全体像を見据えて、個々の取組が大きな５つの目標に対して成果につながっているのか、もっと支援等が必要な分野や、新たに取組をすすめるべき箇所など、個々の分野ごとでは見えなかった視点より推進状況をみていただきたいと考えております。
成果指数の実績A はどのように確認するのですか？その年度ごとにアンケート調査を実施して、その割合を実績値として記載するのですか？	本計画の成果指標は、「第３次鎌倉市総合計画第４期基本計画」における成果指標でもあります。所管の企画計画課が、年度ごとに市民アンケートを実施し、成果指標の実績を把握する予定です。

意見内容	回答
目標値B（初期値以外）はどのような根拠（資料）に基づいた数値ですか？「第4 期基本計画成果指標（アンケート調査）より」とありますが、R２以降の目標値が同計画成果指指標に記載されていますか？（資料を調べているのですが、見当たらなかったもので。指標が明記されているのであればOK です） ※ アンケート調査ですので、調査した年度の各調査項目の市民の割合は表記できると思いますが（この割合が初期値と理解していますが）、それ以降の年度は表記できないと思いますが。	成果の指標とともに、指標の目標値も「第３次鎌倉市総合計画第４期基本計画」において定めております。成果指標の各年度の目標値等、計画の詳細については、現在、市ホームページにて公開する準備をしており、また、年度内には冊子として有償配布する予定です。
その他はこのコロナ禍の中での作成ですので、よく出来ていると思います。 来年度の業務もコロナ禍の影響を直接・間接的に受けると思いますので、当面の間は、出来るとこからか纏め上げるとの方針でいいと思います。	労いのお言葉ありがとうございます。各課、コロナの影響を受けながらも手法や規模を変更する等、できることを進めてまいりますので、引き続き御理解・御協力のほどよろしくお願いいたします。
資金の援助・助成金など、経済的な支援は活動にとっては大変頼りになるサポートだと思いますが、システム整備・情報収集・アドバイスなどソフト面のサポートも大いに期待するところです。ご検討ください。	民生委員児童委員の皆さまや自治会町内会等の皆さまには、地域のため日頃より御尽力いただいており、市としてより細やかなサポートが必要であると考えています。活動に際してのマニュアルや、個々のケースに対する活動者からの相談を受け解決に導く体制を構築し、活動者の方々の円滑な活動への支援や、負担の軽減を目指してまいります。
複数の担当課の対応がかなりあり、横断的につなぎ、各部門と連携し調整していくという点は大いに評価できると思います。縦割りにこだわることなく、ますます横のつながりを強めて頂きたいと思います。	評価の言葉をいただきありがとうございます。 計画に明記することにより、今後、各課の職員がこれまで以上に連携しやすい意識と体制づくりに努めてまいります。
取組推進状況一覧には抽象的・観念的な表現が多く感じられます。より具体的な取組内容または実績の報告を望みます。取組中に見えてきた課題もあると思いますので、どう乗り越えたか・解決したかなどを具体的に報告して頂けないでしょうか。	本計画は、複数の分野が「地域福祉」を基準として横断的につながっていることを明記したものであり、個々の取組は、すでに各分野の個別計画にて目標を定め、取組の詳細を記載し、細かい数値や課題等を追っています。本計画では、分野を超えた全体像を見据えて、個々の取組が大きな５つの目標に対して成果につながっているのか、もっと支援等が必要な分野や、新たに取組をすすめるべき箇所など、個々の分野ごとでは見えなかった視点より推進状況をみていただきたいと考えております。